

# リスクの少ないソフト部門から本業、そしてレンタル工場建設へ (株式会社 玉吉製作所)

## 会社概要(平成24年10月現在)

- 所在地:静岡県富士宮市外神147
- 代表者:代表取締役 吉田 弘宣
- 資本金:1,000万円
- 売上高:7億円
- 従業員数:70名
- URL:<http://www.tamayoshi.co.jp/>

## ①事業概要

### <精密板金部品の製造販売>

半導体製造装置・医療機器を主とした精密板金部品の加工及び組立並びにOEM製品の設計・開発・製造を行っている。通常の板金加工全般に加え、特にSUSとアルミの無酸化レーザー切断及び溶接、パイプのレーザー切断と穴空け、製缶フレームの溶接組立後の無切削化(精密フレーム)等、高度な板金加工に取り組んでいる。当社では、全てCAD/CAM一環生産を行っている。

50年の経験を生かし、戦後大きな発展を遂げてきた板金加工の分野では、職人の技からNC工作機械の時代になっても、顧客のニーズに合わせてのモノづくりを目指している。

## ②海外展開概要

### <東南アジアにおける独資企業設立>

製造部門にベトナムからの研修生を受け入れたことで、海外展開を検討するきっかけとなった。ベトナム人の親しみさ、素朴さ、日本への親近感などを併せ持っていた。平成17年に現地に独資として、三次元設計を立ち上げた。仕事は日本の親会社から発注されるので、営業での苦労はなかった。

しかし、会社設立時の行政の対応が悪く、時間が無駄に費やされた。会計・法律・制度の違いにも悩まされた。同年8月に中小機構の現地アドバイザー制度の存在を知り、そこから、様々なアドバイスを頂くこととなった。

## ③取組の重点(活用した支援策を含む)

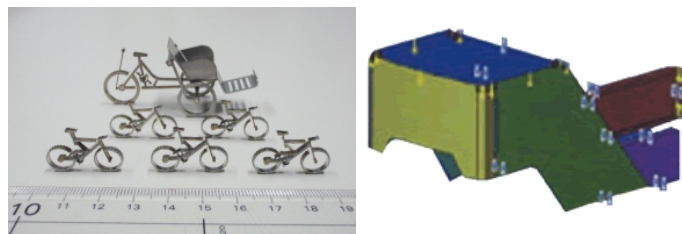
ベトナムでの現地アドバイザーからは、様々なアドバイスを頂いたが、特に会計では、会計制度そのものに加えて税務を、労務に関しては就業規則の整備を始め、労使間問題に至らない為のアドバイスなどを受けたことで、会社運営がスムーズに行えるようになったと言える。

さらに、製造部門の進出だけでなく、他社との事業連携を目指し、アドバイザーの助言を得ながら、同じ工場内の敷地を確保し、レンタル工場も建設、別会社を平成18年12月に立ち上げた。これからのレンタル工場に入居する中小企業との連携を目的にしており、これも中小機構のアドバイザーのおかげである。

## ④今後の事業展開について

日本の製造業が海外展開を加速する中、ベトナム工場への注目が上がっている為、ベトナム工場の強化を図って行きたい。

また、その中で海外調達したい取引先から窓口は、日本国内でとの期待も上がってきており、国内外の工場間の連携を図れるよう体制作りをしていきたい。



(平成24年10月現在)

データ出所:(独)中小企業基盤整備機構